

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	多文化共生支援システム導入事業
事業主体 (連絡先)	白馬村役場 税務課 (0261-85-0712)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり
事業タイプ	(4) 安全・安心な地域づくり
総事業費	2,939,200 円 (うち支援金: 2,351,000 円)

事業内容

多文化共生支援システムは、多文化共生支援サイトと多文化共生データベースシステムの2本の柱で構成される。

支援サイトは、白馬村で生活する外国人の方々が困ったときに頼れるサイトを目指す。

データベースシステムは、昨今急増する白馬村で生活する外国人の方々に防災・防犯情報を余すことなく発信できるよう、全体を把握できるようなシステムを構築する。

事業効果

①行政サービス・防災情報・ルールの「大分類」、求めている情報が連想しやすいキーワードで表示される「中分類」、内容の「小分類」の3層構造とした。

②誤訳や誤解が発生しないように、難しい表現の日本語はやさしい日本語を参考にしながら、出来るだけ噛み砕いた表現に変換して文章を作成した。また、どうしても長文や噛み砕いた表現になってしまうと意味が変わってしまう情報については、最初から英語訳した文章をPDF形式でサイトに掲載したり、より詳細な情報が掲載されていて多言語対応している外部サイトへの誘導を実施した。

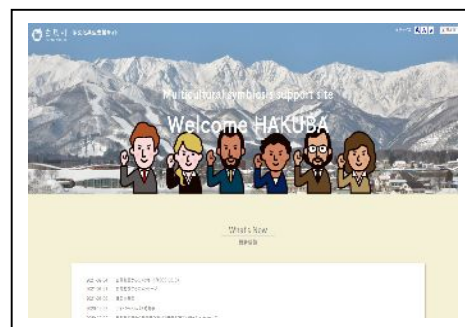
上記2点により、検索エンジンで「白馬村 多文化」「welcomehakuba」で検索すると一番上に表示されるようになり、従来の英語版行政HPの令和2年12月から令和3年1月のアクセス数257件と比較したところ、支援サイトのアクセス数は約23倍の5,906件であった。

③データベースシステムを構築するにあたり、行政だけでは把握する事が難しい情報があったため、村内民間企業と連携しながら入力フォーマットを作成した。これにより、村内在住または村内に資産を所有する外国人の一元管理が可能となり、有事の際には避難情報の発信や動向把握が容易となった。運用については、個人情報保護に配慮しつつ、情報を収集し提供する。

今後の取り組み

今後の取り組みとしては、多文化共生支援サイトが外国人の求めている情報のキーワードで、検索エンジンの一番上に表示されるように情報を常に更新し続け、アクセス数を現在の1.5倍まで伸ばしていきたい。また、既存の行政ホームページの英語版との差別化を図るため、情報のスリム化に努め、白馬の情報を知るきっかけ作りのサイトとなるように尽力していく。

データベースシステムについては、個人情報の保護を大前提に、出来ることにどれだけ活用出来るかが課題となっていくことが予想される。行政のみの内部情報としてはGISシステムと連携させて、災害情報や防災情報をより多くの方に伝えられる仕組み作りを考えていきたい。



【支援サイトトップ】

【目標・ねらい】

- ①外国人が見ても分かりやすいサイト構成
- ②外国人が見ても分かりやすい情報内容
- ③官民連携による一元管理

※自己評価【B】

【理由】 今後の地域活性化を増進できる良い土台を作る事が出来たと感じているが、何もないところから作り上げたシステムであり、まだ1年目である。

多文化共生支援員の拡大とそれに伴ったデータの蓄積量の増加が来年度の課題と考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある